

卒業時アンケート（学部対象）

対象 : 学部卒業論文提出者
 実施期間 : 2026 年 1 月 6 日（火）～1 月 14 日（水）
 実施方法 : 教務係へ卒業論文を提出しに来た者にアンケート用紙を配布し、すぐ側に設置した回収箱へ投函してもらう。回収箱は評価・広報室前にも設置した。卒業論文の郵送提出を希望した者には、卒業論文と一緒にアンケートも郵送で提出してもらう。
 ※アンケートとともに卒業論文を提出するというかたちをとったため、卒業論文提出日にほぼ回収することができた。

論文提出者 : 174 名
 回答者数 : 173 名
 回答率 : 99.4% ※2024 年度 97.6%

結果まとめ 質問ごとに(全体) (実数)

【専修】 所属する専修は次のどれですか？

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	
哲学・思想文化学	倫理学	中国哲学	インド哲学	日本史学	東洋史学	西洋史学	考古学	日本学	人文地理学	日本語学	日本文学・国語学	比較文学	中国文学	英米文学・英語学	ドイツ文学	フランス文学	美学・文芸学	音楽学・演劇学	美術史学	合計
9	7	1	3	19	5	15	6	8	6	14	25	4	2	4	2	3	9	13	18	173
20				45				28			31			9			40			
哲学ブロック				歴史学ブロック				日本学ブロック			東洋文学ブロック			西洋文学ブロック			芸術ブロック			

質問 1 あなたが所属する専修において開講されている講義や演習の数や種類は十分でしたか？

A	B	C	D	E
非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない
105	53	15	0	0

質問 2 あなたが所属する専修において開講されている講義・演習・実習等のバランスは適切だと思いますか？

A	B	C	D	E
強くそう思う	ややそう思う	あまり思わない	全く思わない	どちらとも言えない
95	63	12	2	1

質問3 あなたが所属する専修において開講されている授業の内容は、全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
	115	49	9	0	0				

質問4 大阪大学文学部の教室や教育のための設備は、満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
	53	70	41	6	3				

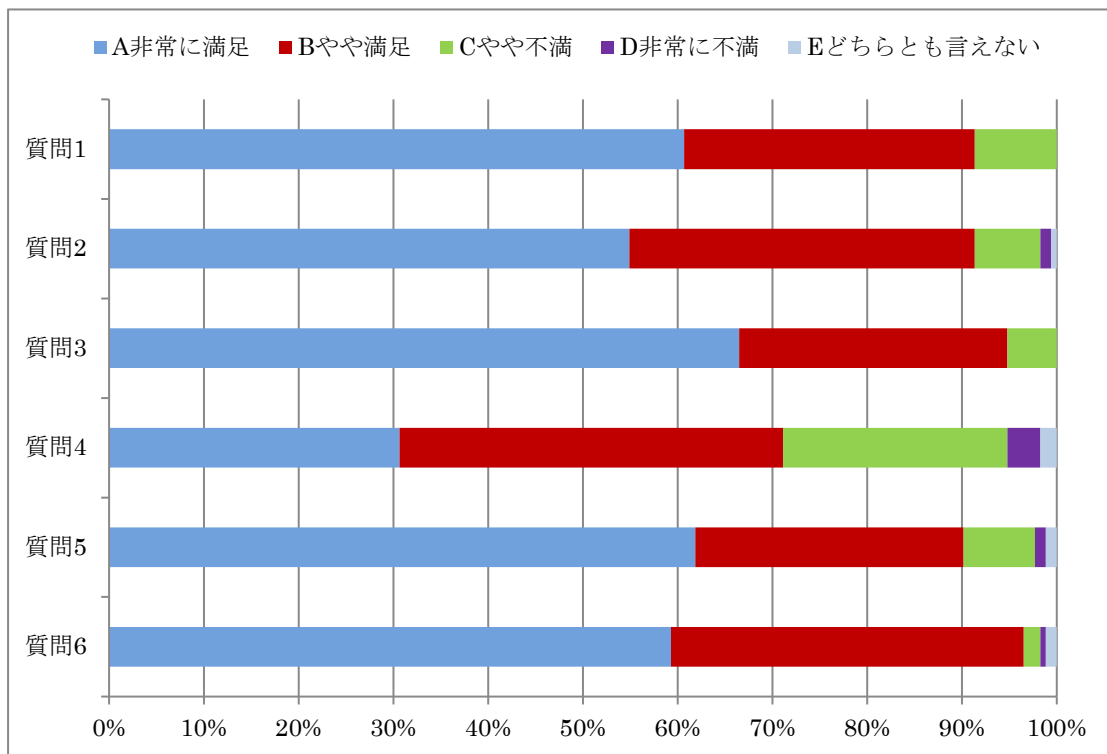
質問5 卒業論文の作成や日常の勉学について、教員から十分な指導を受けることができましたか？

A	強くそう思う	B	ややそう思う	C	あまり思わない	D	全く思わない	E	どちらとも言えない
	107	49	13	2	2				

質問6 大阪大学文学部での勉学は全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
	102	64	3	1	2				

各質問の回答選択肢の割合



質問7 大阪大学文学部での教育全般について、より良くするための意見や要望があれば、自由に書いてください。

【設備・教室について】
終日利用できる自習室がほしかったです。
WiFi をつながりやすくしてもらいたいです。文 41 教室（文法経）
【授業・単位について】
単位の管理をしやすくするためのシステムを用意して欲しいです。
あと何単位必要かわかるシステムがあると安心できると思いました。
教職の関係で単位計算が大変だったので、計算ツールのようなものがほしい。
レジュメ・提出物・配布資料のオンライン化を求む。
阪大の先生の授業も興味深かったですが、もっと哲学の外部の先生の話も聞いてみたかった思いはあります。
1 回生のときに授業が少ない。全学科目への（誘導）指示が多いと迷わないですむ。
日本文学の授業を前期にもっと開講してほしい。
【卒論について】
卒業論文の書き方について丁寧な指導があると良い。
【図書館について】
年末年始卒論作業中に図書館開いていたら良かった。
図書館をもっとあけて下さるとうれしです。
図書館をより長く開放して欲しいです。
【その他】
文学部で取得できる教職科目の主要出版社の教科書や資料集を指導要領改訂ごとに購入し、OPAC で検索、貸し出しできるようにしてほしい。（総合図書館が新しい教科書を買ってくれないので）
オンラインシステムを簡易化してほしいです。
ありがとう！
もっと人文学にお金を使ってください
卒業したいです。

自由記述欄についてのご回答

教室の Wi-Fi 環境等についてのご意見をいただきました。学部としても Wi-Fi 環境の拡充に努めており、徐々に実現できていますので、ご理解いただければと思います。

修得単位数の状況は、もちろん大学としても把握しているところですが、基本的には皆様による適切な管理が求められるところです。学生便覧の読み落としや履修登録の取り消し忘れ・誤登録が計算間違いの原因でもあります。履修登録の段階からの入念なチェック・計算をお願いいたします。どうしても計算が困難である部分や不明点がありましたら、早めに教務係や指導教員などに問い合わせるよう心がけてください。

卒業論文の指導のあり方については、教員から学生への働きかけ・介入の程度・頻度は、学生の研

究のオリジナリティーを守るためにもより慎重な検討を要するところです。学生からも教員に質問し
に出向くなど、学生による積極的な取り組みもお願いいたします。

図書館の開館日数と時間については、近年の人件費と物価の高騰の影響もあり、年々確保が難
しくなっています。大学としても節電をするなどして、開館時間を短縮しながらも開館日数を維
持する工夫をしているところですが、限界もあります。開館カレンダーを参考に、計画的な利用・
研究をお願いいたします。